

今年4月、吉村知事に対して、新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望書を手交いたしました。飲食店等への給付型支援、認証制度の強化・拡充、宿泊療養施設の活用促進、変異株スクリーニング検査体制の構築など、幅広い分野での政策実現につながっています。



さらに、9月30日に山形県農業の維持・発展ならびに農村施策に関する要望書を吉村知事に手交いたしました。関係者のご意見をもとに、政府備蓄米の運用改善等による市場隔離の実施、農業水利施設の長寿命化支援等を国へ働きかけることに加え、コロナ禍における主食用米等の消費拡大、園芸振興、鳥獣被害対策をはじめとした幅広い地域農政課題についての要望内容であり、引き続き、現場の皆様のお声を大切に政策実現につなげてまいります。



わたしたちにできること、ひとつひとつはじめます!

山形県議会

県政クラブ 便り

令和3年9月定例会代表質問 《県政クラブ 原田和広 9月24日》



新型コロナに対する基本的な感染防止対策のあり方について

▶吉村知事/感染拡大防止と経済活性化の両立には、政府の対策や地域経済の動向も踏まえつつ、「ハンマー アンド ダンス※方式」が重要であると考えている。今後県内感染の第6波が起こることを前提に、宿泊療養施設や酸素ステーションなどの医療提供体制の充実とワクチン接種の推進を図っていく。ワクチン接種の対象でない12歳未満の子供については、今月上旬には、保育所・幼稚園、小中学校各施設に抗原検査キットを配布し、職員の感染を早期に発見できる環境を整えた。また、保育士・教員に対して8割以上の市町村でワクチンの優先接種を実施した。

※抑制と緩和

変異株に対する対応について

▶健康福祉部長/県では、変異株の県内侵入状況を監視するため、今年1月以降、衛生研究所にて変異株のスクリーニング検査を実施。また、今年7月、次世代シーケンサーを導入し、新型コロナウイルスの全遺伝子配列を調べるゲノム解析を開始した。これらの調査により今年3月、E484K変異株によって県内第3波が引き起こされたことが確認された。その後もアルファ株により第4波、7月下旬にはデルタ株により第5波が引き起こされた。今後の変異株の県内への侵入についても早期に把握し、必要に応じて流行地域との往来を控えるよう注意喚起を図っていく。

中小企業に対する資金繰り支援について

▶産業労働部長/金融機関と県で構成する金融ワーキングチームにおいて、制度融資の償還が困難となった事業者に対しては、金融機関において元金返済の繰延や、返済期間の延長等の条件の変更に応じることと合意した。県としては、商工会・商工会議所に今年度新たに配置した経営支援員による伴走型の支援のほか、県のパワーアップ補助事業や政府の事業再構築補助金等を用いて業態転換や生産性向上を促し、ポストコロナに向けて県内企業の稼ぐ力を維持・強化していく。県単独では対応できない課題には、全国知事会等に強力に政府に要望していく。

小規模な家族農業への支援について

▶農林水産部長/「元気な地域農業担い手育成支援事業」の主な取組としてハード面では、①家族経営9戸共同での高性能田植機と農業用ドローンの導入による、作業の効率化・省力化、②稲作農家の経営継承に向けた特別栽培米の生産拡大による、収益性の改善等がある。ソフト面では、①複式簿記を習得する研修会の開催、②農業経営支援チームによる作付品目や面積、販売方法等への指導・助言、③より高度な経営改善に向けた中小企業診断士等専門家の派遣を実施していく。引き続き支援し継続性と収益性の高い家族経営体の育成を図っていく。

-令和3年- 県政Pick UP

1 令和2年7月 豪雨を受けての緊急対策



昨年の記録的大雨と同規模の洪水被害を軽減するため、最上川における大規模な流域治水事業として、おおむね10年間で約656億円を国

が投じる「最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト」が着工しました。河道掘削、堤防整備、分水路整備、遊水地改良、雪対策を兼ねた住居の高床化支援や水田貯留など市町村と連携した対策を進めていくことに加え、県も令和11年度まで約500億円に及ぶ県管理河川の整備を実施していきます。

3 全国上位のワクチン接種率



県は、新型コロナウイルスワクチンの接種をより迅速かつ幅広く進めるために、障がいのある方や乳幼児同伴者への配慮を実施しながら、

12歳から64歳までの県内在住者を対象に、2回合わせて計11,825名の県民の皆様に対して接種事業を行いました。都道府県別のワクチン2回接種率は62.4%で全国7位(9/26時点)。今後とも、県内全域における充足率の底上げに全力で取り組んでいきます。

2 凍霜害被害は過去最高の約130億円



県のまとめによると、凍霜害による農作物の被害額は129億7,600万円、降ひょう被害額は7億2,000万円にのぼります(8/31速報値)。今後、これまでの緊急支援対策を拡充・強化して農業者の負担軽減や営農継続につなげていきます。なお、こうした自然災害への対応のほか、2021年産米概算金の発表を踏まえ、新型コロナウイルスが及ぼす米価下落等への影響に対して、会派として積極的に要望・提言していきます。

4 国に先駆けた「ゼロカーボンやまがた2050」宣言



令和2年8月6日に行われた全国知事会「第1回ゼロカーボン社会構築プロジェクトチーム会議」において、吉村知事が2050年までに温室効果ガス排出の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンやまがた2050」を国に先駆けて宣言。カーボンニュートラルややまがた推進会議が設置され、具体的な取組を盛り込むアクションプランの策定を目指していきます。

県議会を傍聴してみませんか。

お問い合わせ先

山形県議会

県政クラブ

☎990-8570 山形市松波2丁目8番1号
TEL.023(630)2838〈議会事務局総務課〉

山形県議会
県政クラブ 便り
令和3年10月発行

Report 県政クラブ

活動レポート

ただ今12名在籍中!

わたしたちは、こんな活動をしています!



●…常任委員会
◎…特別委員会など



米沢市選挙区《5期》
代表 **木村 忠三**

きむら ちゅうぞう

- 総務常任委員会
- ◎議会運営委員会
- ◎新型コロナウイルス感染症対策特別委員会(副委員長)
- ◎山形県議会定数等検討委員会(副委員長)

本県予定延長23kmの福島～米沢間防災トンネルの参考とするために、秋田新幹線・仙岩トンネルの予定地を調査。議会での質疑を通してトンネル新設に関する調査費提案に結びつく。平均時速200km以上で走行可能高速鉄道実現のため今後さらに提言していきます。



山形市選挙区《4期》
副代表 **高橋 啓介**

たかはし けいすけ

- 建設常任委員会
- ◎関係人口拡大・活力ある地域づくり対策特別委員会

毎年2回、吉村知事に私立高等学校授業料の負担軽減を求め私学団体の皆様と要請行動を行っています。国の授業料無償化が始まりましたが、所得制限の関係で本県では約4割の方が無償化の恩恵を受けておらず、今度とも無償化に向け取り組んでまいります。



山形市選挙区《4期》
幹事長 **吉村 和武**

よしむら かずたけ

- 文教公安常任委員会
- ◎経済活性化・雇用対策特別委員会

都市計画審議会に会派選出議員として出席。人口減少という大きな課題がある中、活力ある街づくりを行うべく議論を致しました。交通体系を含め、今後も県民目線の提言をしてまいります。



酒田市・飽海郡選挙区《3期》
総務会長 **石黒 覚**

いしぐろ さとる

- 農林水産常任委員会
- ◎健康医療・女性若者活躍対策特別委員会
- ◎山形県議会定数等検討委員会

6月7日曜日、酒田市八幡総合支所管内の河川砂防関係危険箇所要望現場調査で、旧国道344号線跡地地滑り危険箇所他2カ所を県、酒田市の関係者、後藤泉酒田市議とまわりました。県民皆様方の安心安全確保が最優先される対策へ、知恵の結集が重要です。



東根市選挙区《3期》
政調会長 **青柳 安展**

あおやぎ やすぶ

- 商工労働観光常任委員会
- ◎議会運営委員会
- ◎山形県議会定数等検討委員会

我が国の指定史跡となった慈恩寺旧境内は山寺や出羽三山神社等と同じく、本県にとっては歴史的に重要な史跡であります。この史跡を分かりやすく紹介する慈恩寺テラスが交流拠点施設として完成。最新技術を駆使した観光誘客の取組を調査しました。



寒河江市・西村山郡
選挙区《2期》
松田 敏男

まつだ としお

- 厚生環境常任委員会
- ◎議会運営委員会
- ◎予算特別委員会(副委員長)

2020年7月28日からの大雨により、各地の河川はもちろん、多くの社会資本に過去に例のない大災害をもたらしました。吉村知事、舟山参議院議員、芳賀参議院議員による翌日からの視察激励に同行。目下、今年度より災害復旧作業が各地で着工しています(写真は朝日町立木の災害現場)。



長井市・西置賜郡
選挙区《2期》
青木 彰榮

あおき しょうえい

- 総務常任委員会
- ◎議会運営委員会(副委員長)

主要地方道長井飯豊線、手ノ子工区のバイパス区間545mが9月22日午後開通した。事業費は約6億円、完成まで10年以上を要したが、引き続き小白川地内の隘路(あいろう)解消に向けた道路改良事業の着手、早期完成に向けてしっかり取り組んでまいります。



山形市選挙区《1期》
原田 和広

はらだ まさひろ

- 建設常任委員会
- ◎健康医療・女性若者活躍対策特別委員会(委員長)

山形県議会建設常任委員会の現地調査で、新庄北ICで建設中の泉田道路、落石防護柵設置中の国道344号線、カーボンニュートラルポートを目指す酒田港の3カ所を視察。酒田港では意見交換会にも時間を割いて、新しい基地港湾のあり方について学びました。



村山市選挙区《1期》
菊池 大二郎

きくち だいじろう

- 総務常任委員会
- ◎経済活性化・雇用対策特別委員会(委員長)

最上川緊急治水対策プロジェクトの中核をなす村山市における事業内容について、山形河川国道事務所と現地調査。残土等の災害処理、下流域への影響や関係住民への情報共有を強く要望。大旦川改修整備事業等も引き続き対応を求めています(写真は市内大澗にて)。



鶴岡市選挙区《1期》
高橋 淳

たかはし じゅん

- 文教公安常任委員会(委員長)
- ◎健康医療・女性若者活躍対策特別委員会

文教公安常任委員会では、令和2年度「ICT活用による学習活動の充実推進事業」における推進拠点校に指定(～令和3年度までの2カ年)された、市立温海中学校へ。各教科へのICT機器の活用状況やこれまでの事業実績と今後の取組について調査を実施しました。



鶴岡市選挙区《1期》
今野 美奈子

この みなこ

- 厚生環境常任委員会(副委員長)
- ◎関係人口拡大・活力ある地域づくり対策特別委員会

精神障がい者の家族会にて、ワクチン接種や生活についての現状等をお聴きしました。患者さまやご家族の声、こころの医療センターの所在地である鶴岡市からの要請を受け、県は外来患者さまがワクチン接種を受けることができるような体制をすぐに整えました。



山形市選挙区《1期》
梅津 庸成

うめつ ようせい

- 農林水産常任委員会
- ◎関係人口拡大・活力ある地域づくり対策特別委員会

農林水産常任委員会で本県の基幹産業たる農林漁業の振興のために提言を続けています。特に農業については、多面的な機能が維持され、家族農業が永続できるよう、現場の声を大事にしっかりと聴き、豊作を素直に喜べるような農業政策の構築をめざしてまいります。